

Vol.39 「お見合いからご成婚へ」

WIPO 事務局長補 夏目 健一郎

1. SDGs

SDGs (持続可能な開発目標) という言葉を聞くようになって久しい。2015年に国連で採択された17の目標からなるこのSDGsは持続可能な開発のための2030アジェンダの一部である¹。WIPOも国連専門機関であり、SDGsに様々な形で貢献している。そのうちの一つがWIPO GREENである。WIPO GREENは気候変動や環境問題などの解決のための技術を提供するプレイヤーと技術を求める側のマッチングを実現するための仕組みである。

2023年9月の国連総会に先立ちSDGサミットなどが国連本部で開催されたが、その中でWIPO GREENも気候変動に対する革新的なデジタルソリューションとして紹介された²。

2. WIPO GREEN 10周年

そのWIPO GREENも2023年11月で10周年を迎えた。10周年の節目を迎えるにあたり、持続可能で再生可能な未来のために環境保全技術が果たす役割について深堀りするためのシンポジウムを開催した。残念ながら本稿が読まれる時にはシンポジウムは終わってしまっているが、プログラムはウェブサイト上でご覧いただけるので多少なりとも雰囲気は感じていただけるかもしれない³。

3. 出会い系サイト?

WIPO GREENは気候変動や環境問題を解決するためのマッチングのデータベースであることは上述のとおりであるが、およそ13万件のデータが蓄積されており、この手のデータベースとしては数多くの技術情報にアクセスできる。技術を提供する側が登録した技術情報にアクセスし、技術を求める側がライセンス交渉などを行い実際の事業を実現する、というのが最も典型的なマッチングのパターンであろう。WIPO GREENでは技術を求める側が欲しい技術を登録することもでき、逆にこの欲しい技術を見た提供者側が、技術の提供のためにコンタクトする、ということも考えられる。いずれにせよ、データベース上の情報をベースに技術を提供する側と技術を求める側のマッチングを実現するのが狙いであり、ある意味、技術の世界の出会い系サイトである。

ただ実際は机上のセオリーどおりとは限らない。WIPO GREENに限らず、他の技術移転の枠組みでもそうであるが、実際のマッチングに辿り着くことは容易ではない。WIPO GREENには13万件のデータがある一方で、マッチングが成立した数はごく限られている。

例えるならば、お見合いサイトで登録はあっても、お見合いはしているかもしれないが、ご成

婚にまで至るケースが劇的に少ないのである。

なぜか。明確な理由が分かれば苦勞しない、と言ってもしまえばそれまでであるが、考えられる理由は種々あろう。

例えば、技術を求める側にとってWIPO GREENはさほど認知されておらず、環境技術を探す場合にWIPO GREENを利用してもらう機会が少ない。また、技術を提供する側において技術は無料で提供しなければならないという誤解がある(無料である必要はなく、水面下の交渉で両社が合意する条件でライセンスすればよい)。さらに実際に技術移転が行われてもそれを公にしたくなく合意の事実がオープンにならない、などが挙げられる。

人間の世界に目を向ければ、よくお見合いには仲人さんがいて、候補の情報(写真、経歴)を持って紹介する、ということがある。このような方々は往々にして色々な人脈、情報を持っていて、〇〇さんはこういうタイプだからこの人を紹介してみると合うのでは、などと双方の間を取り持ちたりする。WIPO GREENにもこのようないい意味での世話を焼く、お互いを紹介する、といった仕組みが必要かもしれない。

さらにはAIを使って、この技術はここに適

用できるのではという分析ができるかもしれない。これを踏まえてお互いを紹介してお見合いしてもらえば、ご成婚率が上がる可能性も広がるかもしれない。

4. 10歳って?

10歳と言えば、小学校4年生。もうよちよち歩きの赤ちゃんなどではなく、色々なことができる年齢である。10歳以下で天才子役と言われる子供たちもいる。モーツァルトは5歳で作曲をしたとされる⁴。もちろん、多くの10歳は社会に出ているわけではなく、まだまだ学んだ経験しなければならぬことも多い。今後、WIPO GREENが技術の出会い系サイトとして更に成長し、ご成婚件数が増えていくことを願っている。

¹ 英文 <https://sdgs.un.org/2030agenda>、日本語版訳 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaikou/oda/sdgs/pdf/000101402_2.pdf

² https://www3.wipo.int/wipogreen/en/news/2023/news_0017.html

³ https://www.wipo.int/edocs/mdocs/mdocs/en/wipo_green_ge_23/wipo_green_ge_23_program.pdf

⁴ https://www.ymm.co.jp/feature/composer/MOZART_Wolfgang_Amadeus.php

NATSUME, Ken-ichiro (WIPO 事務局長補)

日本国特許庁にて審査官、審判官としてエレクトロニクス、コンピュータ関連の審査、審判業務に携わる。その間、カリフォルニア工科大学客員研究員、特許庁国際課、総務課、調整課審査基準室、外務省経済局、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部などにおいて、特許行政、国際交渉にも従事。2012年にWIPO日本事務所所長に就任し、PCT国際協力部長、PCT法務・国際局上級部長を経て、2021年1月から現職。